

第60回広島大学経営協議会議事要録

日 時 平成29年3月16日(木) 14時01分～14時49分

場 所 広島大学学士会館レセプションホール

出席者 学外委員：有本，岡谷，北島，ギナンジャー，國井，郷，佃，間田の各委員
学内委員：越智，宮谷，相田，吉田，高田，平川，片山の各委員

欠席者 学外委員：白石委員
学内委員：佐藤委員

列席者 渡邊副学長，江坂副学長，寺本副学長，神谷副学長，野上監事，高橋監事，竹内学長補佐，林副理事，原部長，堀田副理事，盛井部長，松尾部長，青山副理事，岡本副理事，山内副理事，相原副理事，渡邊部長，高橋副理事，三分一副理事，大高所長，大淵部長，須崎部長，眞田部長，吉岡部長，下田部長，河村学長室長，三井法学部長(代理)，千田経済学部長，秀医学部長，加藤歯学部長(代理)，岩永総合科学研究科長，久保田文学研究科長，小山教育学研究科長，瀧社会科学研究科長，楯理学研究科長，山田先端物質科学研究科長，片岡医歯薬保健学研究院副研究院長(代理)，佐野工学研究院長，吉村生物圏科学研究科長，馬場国際協力研究科長，秋野法務研究科長，松浦原爆放射線医科学研究所長，藤原未来戦略会議委員，坂田学長選考会議委員

※ 以下，発言内容は，○：学外委員，◇：学内委員を示す。

(第59回広島大学経営協議会議事要録について)

平成29年1月12日開催の経営協議会議事要録について，原案のとおり承認された。

(議事1)

● 平成29年度年度計画について

(越智学長提案，説明，別紙1)

◇ 平成29年度の年度計画については，中期計画に基づく平成29年度の業務運営に関する計画として，今年度末までに文部科学大臣に届け出ることになっており，第3期中期目標，中期計画及び平成28年度計画の進捗状況を踏まえ作成した。

なお，経営に関する事項を本会議で審議し，経営に関する事項以外は教育研究評議会で承認されている。

以上の提案・説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，役員会へ付議することとした。

(特に質疑応答なし)

(議事2)

● 広島大学新長期ビジョンについて

(越智学長提案，説明，別紙2)

◇ 現在の広島大学長期ビジョンは，10年から15年後の広島大学像として平成21年6月に策定され7年以上が経過し，その間，社会は大きく変化している。また，本学は「研究大学強化促進事業」，「スーパーグローバル大学創成支援事業(トップ型)」に採択され，更には指定国立大学法人制度が始まるなど，本学を巡る状況も大きく変化している。このような背景を踏まえ，本学が100年後にも世界で光り輝く大学であるための新しいビジョンとして，未来戦略会議が作成した原案を基に，役員懇談会並びに部局長等意見交換会での意見を踏まえ「広島大学新長期ビジョン：SPLENDOR PLAN 2017」

を作成した。

以上の提案・説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、4月の役員会へ付議することとした。

なお、次の発言があった。

- ・「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）」について

（議事3）

● 平成30年度教育研究組織整備について

（越智学長提案，宮谷理事（教育・東千田担当）説明，別紙3）

- ◇ 平成30年度の教育研究組織整備のうち，平成30年4月に情報科学部の新設，総合科学部国際共創学科の新設，工学部の改組及び新設・改組に伴う入学定員の改訂等のため，文部科学省に手続きを行う。

以上の提案・説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，役員会へ付議することとした。
なお，今後の文部科学省との折衝状況による修正については，学長に一任することとした。

また，次のような質疑応答が行われた。

- ・総合科学部国際共創学科の成果について
- ・情報科学部の構想について
- ・大学院について

（議事4）

● 研究院の廃止について

（越智学長提案，説明，別紙4）

- ◇ 大学院工学研究院長及び大学院医歯薬保健学研究院長から，平成28年度に学院が設置されたことから平成28年度限りで研究院を廃止することについて申し出があったため，2つの研究院を廃止する。

以上の提案・説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，役員会へ付議することとした。

（特に質疑応答なし）

（議事5）

● 平成29年度当初予算について

（越智学長提案，片山理事（財務・総務担当）説明，別紙5）

- ◇ 平成29年度の学内予算編成の基本方針については，1月の経営協議会で報告し，1月24日開催の役員会で承認され，その基本方針に基づき平成29年度当初予算（案）を作成した。主なポイントは，施設整備費補助金等の増，平成29年度に新たな補助金として，国立大学法人機能強化促進費（補助金）が1.1億円交付され，教育研究組織整備に活用する。また，学長裁量経費に若手研究者の研究意欲を高めるため39歳以下を対象とした研究助成金を新たに創設する。

以上の提案・説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，役員会へ付議することとした。

（特に質疑応答なし）

（議事6）

● 長期借入金償還計画等について

(越智学長提案, 片山理事(財務・総務担当)説明, 別紙6)

- ◇ 病院の建物, 設備の整備のために借り入れた借入金の償還計画及び平成29年度の借入金については, 文部科学大臣の認可を受ける必要がある。平成28年度末の長期借入金の総額(元金)が約202億8,000万円となっており, 平成29年度の償還計画額は, 元金が約13億5,000万円, 利息が約2億1,000万円で, 計15億6,000万円を返還することとなる。なお, 平成29年度に「高性能コンピュータ断層撮影装置システム」が認められ, 約3億円の長期借入金の認可申請を提出する。

以上の提案・説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認し, 役員会へ付議することとした。

(特に質疑応答なし)

(議事7)

● 就業規則等の改正について

(越智学長提案, 片山理事(財務・総務担当)説明, 別紙7)

- ◇ 人事制度の改正に伴う就業規則等の改正について, 平成28年度人事院勧告の対応を含め次の規則を改正する。

- 1) 扶養手当及び勤勉手当の改正(平成28年度人事院勧告への対応)
- 2) 職名(医療ソーシャルワーカー及び調理師長)の新設
- 3) 年俸制研究員(契約職員)の年俸額(号俸)の4分割及び年俸制適用業務限定の撤廃
- 4) パートタイム職員の災害時の休暇及び無給休暇の見直し
- 5) 在籍出向を命じることのできる契約職員の拡大
- 6) 特別研究員制度の見直し
- 7) 懲戒審査における陳述の請求期間の見直し
- 8) 契約教諭への1年単位の変形労働時間制の導入

以上の提案・説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認し, 各事業場の過半数代表からの意見書を付して役員会へ付議することとした。

(特に質疑応答なし)

(議事8)

● 広島大学キャンパスマスタープラン2016の策定について

(越智学長提案, 片山理事(財務・総務担当)説明, 別紙8)

- ◇ 教育研究活動の基盤である大学キャンパスの質的向上, 教育研究成果による社会貢献及び大学のミッションやアカデミックプランの実現のため, キャンパス空間の将来像に向けた施設・環境整備とその管理・運営のための指針として「広島大学キャンパスマスタープラン2016」を策定する。

以上の提案・説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認し, 役員会へ付議することとした。

また, 次のような質疑応答が行われた。

- ・東広島キャンパスの改修時期について

(議事9)

● 広島大学インフラ長寿命化計画(行動計画)の策定及びスペースチャージ制の導入について

(越智学長提案, 片山理事(財務・総務担当)説明, 別紙9)

- ◇ 大学施設の整備水準・規模を適正に管理し, 限られた財源の中で長期的持続性を維持するための実施方針として「広島大学インフラ長寿命化計画(行動計画)(案)」を作成した。また, 必要な財源

確保の取り組みとしてのスペースチャージ制を導入する。

以上の提案・説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

また、次のような質疑応答が行われた。

- ・スペースチャージ制の導入経緯について

(報告1)

● 平成27年度部局組織評価に係る指摘事項への対応について

(越智学長報告, 資料1)

- ◇ 平成27年度部局組織評価において、改善を要するとされた事項について、昨年11月の経営協議会学外委員との意見交換会で意見交換を行い、その後の対応状況として取り纏めた旨報告があった。

(特に質疑応答なし)

(報告2)

● SGU事業外部評価及びアドバイザー・ボードの結果について

(宮谷理事(教育・東千田担当)報告, 資料2)

- ◇ SGUの事業に関し、今年度、外部評価及びアドバイザー・ボードによる評価を実施し、外部評価では、5つのカテゴリーに分けて5点満点で評価していただき、全体的には平均4.5点に近い評価であった。また、アドバイザー・ボードに関しては、内容をガバナンスとキャンパスのグローバル化に絞って意見交換し、概ね高い評価であった。いただいた意見を今後の取組に生かしていきたい旨報告があった。

(特に質疑応答なし)

以 上